

学校生協だより



2017年

262号

■E-mail tomigaku@tomigaku.or.jp

■ホームページ <http://www.tomigaku.com/> [会員専用パスワード: tomigaku]

■発行所 〒930-0821 富山市飯野25-8

富山県学校生活協同組合

TEL (076) 451-5351 FAX (076) 451-5325

■印刷 大栄印刷(株)

～学校生協創立60周年～

生協の原点を見つめ、新しい時代へ挑戦!



富山県学校生活協同組合

理事長 沖田孝夫

富山県学校生活協同組合は、1957年に誕生し、今年度、創立60周年を迎えました。

この間、学校生協は、教職員の福利厚生事業の一翼を担う団体として、教職員の皆様の生活の向上と安定を目指し、豊かな未来を確立するため事業活動を展開してきました。60年という永きにわたり存続し、今も教職員の皆様のお役に立てているのも、組合員様はもちろん、学校関係者のご理解・ご支援のお陰です。改めて、関係各位に深く感謝申し上げます。

学校生協の創立当初は、組合員数4,000人、供給高1,300万円程度でした。現在は組合員数12,000人、供給高は5億円と、この60年間で組合員数も供給高も大きく伸長しました。とはいえ、少子高齢化や購買環境の変化などから、供給高は1994年の16億8,000万円をピークに徐々に下がり、現在は最高時の3分の1になりました。組合員数は、近年あまり変わらないものの、退職組合員の割合が増えてきています。

昨年(2016)の11月、国際連合教育科学文化機構(ユネスコ)

は、協同組合を「無形文化遺産」に登録しました。共通の利益と価値を通じてコミュニティづくりを行う協同組合の思想と実践が評価され、世界的に認知されるようになったからです。

今後、教職員を取り巻く経済環境や労働環境は、少子高齢化・高度情報化社会の進展などに伴い、益々厳しさを増してくることが想定されます。学校生協の経営も楽観視できるものではありません。今こそ、教職員の生活を守り向上させるためには、教職員のライフパートナーとして学校生協の役割が重要となっています。教職員の生活が安定していなければ、心豊かな教育活動を行うことができません。

学校生協創立60周年を契機に、もう一度、学校生協の存在意義や役割を確認し、生協の原点を見つめ、新しい時代に立った事業展開を推進していきたいものです。時代は絶えず変化しています。変えるべきは変え、守るべきはしっかり守り、学校生協の役職員、心一つに事業の推進に努めます。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

学校生協創立60周年、学校生協の伝統を守り、さらに発展させていきたいと思います。



富山県学校生協



『永年のご愛顧に感謝して』

創立60周年記念事業実施計画

1. 目的

創立60周年の節目に当たり、これまで学校生協を支えてくださった組合員をはじめとして関係者に感謝するとともに、今後の学校生協の事業推進の契機とします。

2. 予算(案)

- ・500万円(平成19年度から28度までの積立金)

3. 事業概要

- ①学校への商品の還元(250万円)
 - ・1セット3,500円(20人分お菓子、コーヒー等詰め合わせ)を学校規模に応じて配布します。(8月下旬を予定しています)
- ②ふれあいデーの実施(80万円)…案内は別紙チラシ参照
 - ・7月29日(土)10:00~16:00 パレプラン高志会館で実施します。
 - ・指定店ブース展示・即売、芸人・組合員のショー、お楽しみコーナー等
- ③紙上&ネット上感謝セール(30万円)
 - ・秋の1人一品利用運動で、特売・特典付きセールを実施します。
- ④資料、記念誌印刷代(40万円)
 - ・お土産券付き特別チラシの配布、60周年記念誌(学校生協だより本号)
- ⑤予備費(100万円)



ハウジング セミナー

- ・ハンギングバスケットづくり体験
- ・樹木のメンテナンスポイント

5月27日(土)にハウジング指定店会のお世話で「ハンギングバスケットづくり体験」を行いました。中曽根造園 樹木医の中曽根春樹氏を講師に、組合員とそのお連れ様26名が、あいにくの小雨模様の天候の中、自分だけの素敵なハンギングバスケットづくりに夢中になっておられました。

また、後半は「樹木のメンテナンスポイント」についての講義があり、参加された方は、熱心にメモを取っておられました。

講習を受けた皆さんは、作り方や飾り方のノウハウを生かして「家でもっと作ってみたい」とか、「今年の夏が楽しんだ」、「家に持ち帰って家族に自慢したい」など、自分の作品を満足そうにお持ち帰りになりました。

この後、8月初旬、11月下旬、2月中旬に実施する予定です。内容や日程等詳細は事前にチラシでお知らせします。



「樹木のメンテナンスポイント」講義風景



[出資・利用・参加]の原点に立ち、学校生協を強めよう！

6月23日(金)午後3時より、第61回通常総代会を学校生協会館に於いて開催しました。県内各地、団体等から選出された総代・役員の方々に出席いただき、2016年度の事業・決算報告、2017年度事業・予算計画などの議案について審議いただきました。

当日の様子については、学校生協のホームページに掲載しています。

当日の議題は、以下の通りです。

- 第1号議案 2016年度事業報告、財務諸表及び剰余金処分案承認の件並びに監査報告
- 第2号議案 2017年度事業計画並びに予算(案)決定の件
- 第3号議案 役員報酬限度額決定の件
- 第4号議案 議案決議効力発生の件
- 第5号議案 役員の補充の件
- 第6号議案 創立60周年記念事業の件



沖田理事長挨拶

議案は出席(書面議決を含む)した総代の過半数によりすべて承認されました。特に、今年度は「富山県学校生協創立60周年記念事業」について原案通り承認していただきました。組合員の皆様に長い間ご愛顧いただいていることへの感謝の気持ちを第一に企画しておりますのでお楽しみにしてください。



舟木専務理事議案説明

新役員の紹介

理事

役職	氏名	所属	推薦地区
理事	沖田 孝夫	学校生協	全体区 その他
理事	舟木 浩二	学校生協	" "
理事	本田 敏也	富山市立速星小学校	" 県小学校長会
理事	浜谷 一男	富山市立奥田中学校	" 県中学校長会
理事	福島 英晴	富山県立富山中部高等学校	" 県高校長協会
理事	高澤多加子	入善町立黒東小学校	地方区 下新川郡
理事	茶谷 渉	黒部市立若栗小学校	" 黒部市
理事	野村 明男	魚津市立経田小学校	" 魚津市
理事	川高 正嗣	滑川市立滑川中学校	" 滑川市
理事	杉田 孝志	立山町立立山中央小学校	" 中新川郡
理事	國香 正恵	富山市立水橋西部小学校	" 富山市
理事	舟杉 克巳	富山市立杉原小学校	" "
理事	橋本 浩一	富山市立東部小学校	" "
理事	櫻野 栄子	射水市立堀岡小学校	" 射水市
理事	金瀬 志津	射水市立作道小学校	" "
理事	堀 勉	高岡市立下関小学校	" 高岡市
理事	水戸 英之	高岡市立中田中学校	" "
理事	谷内口まゆみ	氷見市立朝日丘小学校	" 氷見市

役職	氏名	所属	推薦地区
理事	中川日登美	小矢部市立蟹谷中学校	地方区 小矢部市
理事	山田 誠	南砺市立福光中部小学校	" 南砺市
理事	溝口 秀勝	南砺市立城端中学校	" "
理事	金岡 一孝	砺波市立般若中学校	" 砺波市
理事	板屋 清学	富山県立高志支援学校	全体区 県立学校
理事	七間 伸子	富山県立高岡西高等学校	" "
理事	荻生 一人	富山県立雄峰高等学校	" "
理事	堀田 行子	富山県立雄山高等学校	" "
理事	角谷 壮績	富山県教職員組合	" 教職員組合
理事	澤木潤一朗	富山県高等学校教職員組合	" "

監事

役職	氏名	所属	推薦地区
監事	齊藤 誠	黒部市立石田小学校	全体区 黒部市
監事	有沢 彰	富山市立山室中部小学校	" 富山市
監事	岩坪智恵子	高岡市立成美小学校	" 高岡市
監事	牧野 和則	砺波市立砺波東部小学校	" 砺波市
監事	坪川 好和	富山県立中央農業高等学校	" 富山市



富山県学校生協

60年の歩み

学校に勤務される皆様に支えられ、おかげさまで創立60年。
これからも、教職員の皆様のライフパートナーとして、絆を大切に、がんばります。

歴代理長	
杉原 一雄	1957-1958
荒川 次郎	1959-1960
北森 清孝	1961-1962
長谷 秀一	1963-1984
林 友二	1985-1998
穴田 清	1999
稲垣 よし子	2000-2003
西尾 秀雄	2004-2005
中 正和	2006-2010
滝澤 久美	2011-2014
沖田 孝夫	2015-



アルペンルート完成

1975
安田生命のグループ保険制度を開設する。ガソリンの供給高が伸びる。

1974
供給額が3億円台になる。

1973
全労済の各種制度を導入する。

1971
創立15周年を迎え、記念タオルを組合員に配布する。立山・黒部アルペンルートが完成する。



立山・黒部アルペンルート

1967
財政強化のため、一人1,000円以上の出資を組合員にお願いする。

1965
供給額が1億円の大台になる。富山県生活協同組合連合会が結成される。

1963
スーパーの攻勢で、店舗事業が伸び悩む。黒部(黒四)ダムが完成する。

1962
盲学校に高岡売店を開設する。

1960
指定店45店舗で、全供給額の50%を占める。

1959
富山市に店舗を開設する。第一生命、富国生命など5社と団体契約を結ぶ。富山県内でテレビ放送が始まる。

1957
学校生協が設立され、翌年1月に認可される。



黒四ダム



学校生協が当時入っていた「教育館」



56 博覧会



富山県教育会館

1986
太陽生命と提携し、SUNサン共済を始め、グループ保険が2社体制になる。

1985
電気製品が大幅に伸びる。



社屋の増設

1984
富山新空港開港



新社屋の完成

1981
五ヶ家雪

1980
学校生協だより第1号を発刊する。県の人口110万人

1977
富山県教育会館が完成し、学校生協も移転する。創立20周年を記念し、へき地校に図書を送る。

1994
供給額が16億7,827万円を達成する。

1992
創立35周年記念事業として、大展示会と「香港・桂林の旅」を実施する。富山県生活協同組合連合会創立35周年記念大会開催

1990
富山中央郵便局と提携し、簡易保険の団体取り扱いを始める。

1989
消費税スタート

1988
学校生協会館新築落成式及び創立30周年記念の式典を実施する。

1987
創立30周年を記念して、田崎真珠などのピクチャーを実施する。

1986
阪神淡路大震災への取り組みとして、「小型ラジオ共同購入運動」を呼びかける。阪神淡路大震災

1998
生協法施行50年

1997
創立40周年を記念して、海外研修旅行「心揺さぶるウィーン・プラハの旅」を実施する。

1996
学校生協会館を増築し、会議室を設ける。

2000
小中学生の「海外体験学習」(アメリカ)に子ども20名を派遣する。三宅島・有珠山噴火

2003
学校教育用品協会が解散し、富山県教育用品が設立される。

2002
創立45周年を記念して、「長江山峡クルーズと上海・武漢の旅」を実施する。

2001
指定店会による「しっとるけ?45の指定店」キャンペーンが始まる。

2016
創立60周年記念事業検討委員会を開催し、記念事業の内容を検討する。ユネスコが協同組合を「無形文化遺産」に登録

2015
学校訪問説明会に力を入れる。「かんぽ生命」の団体扱いが再開される。北陸新幹線開業

2014
ハウジング倶楽部、マイカー購入システム、定期購入など新しい事業を開始する。

2013
ドリンク配置事業に取り組む。

2012
会館事務室をOAフロア化する。みなし自由脱退手続きの整備など内部統制を推進する。

2011
東日本大震災への義援金として、100万円を拠出する。富山県生活協同組合「第一福島子ども保養プロジェクト」開催

2010
中小企業退職共済年金制度に加入する。

2009
「コンテナガーデン教室」「淡彩画教室」の趣味教室が始まる。

2008
生協法の改正に伴い定款・規約・規則を改正する。

2007
創立50周年を記念して、学校への商品の還元とベトナム・インド旅行を実施する。能登半島地震

2006
学校訪問説明会

2005
国際共同組合年「リード」

2004
東日本大震災ボランティアに参加

2003
ふれあいDAY

2002
第60回学校生協同組合代会

2001
会館事務室をOAフロア化する。みなし自由脱退手続きの整備など内部統制を推進する。

2000
東日本大震災への義援金として、100万円を拠出する。富山県生活協同組合「第一福島子ども保養プロジェクト」開催

1999
山中温泉旅行(指定店)

1998
淡彩画教室

1997
創立35周年記念大会(奥津)

1996
退職者の集い

1995
西藏大会

1994
福島復興支援プロジェクト

1993
インド世界遺産巡り

1992
福島復興支援プロジェクト

1991
福島復興支援プロジェクト

1990
福島復興支援プロジェクト

1989
福島復興支援プロジェクト

1988
福島復興支援プロジェクト

1987
福島復興支援プロジェクト

1986
福島復興支援プロジェクト

1985
福島復興支援プロジェクト

1984
福島復興支援プロジェクト

1983
福島復興支援プロジェクト

1982
福島復興支援プロジェクト

1981
福島復興支援プロジェクト

1980
福島復興支援プロジェクト

1979
福島復興支援プロジェクト

1978
福島復興支援プロジェクト

1977
福島復興支援プロジェクト

1976
福島復興支援プロジェクト

1975
福島復興支援プロジェクト

1974
福島復興支援プロジェクト

1973
福島復興支援プロジェクト

1972
福島復興支援プロジェクト

1971
福島復興支援プロジェクト

1970
福島復興支援プロジェクト

1969
福島復興支援プロジェクト

1968
福島復興支援プロジェクト

1967
福島復興支援プロジェクト

1966
福島復興支援プロジェクト

1965
福島復興支援プロジェクト

1964
福島復興支援プロジェクト

1963
福島復興支援プロジェクト

1962
福島復興支援プロジェクト

1961
福島復興支援プロジェクト

1960
福島復興支援プロジェクト

■ ■ ■ ■ ■ 事業検討委員会の委員を募集します。 ■ ■ ■ ■ ■

学校生協では、今年度の事業検討委員会の委員10名のうち、フリー枠として5名の委員を募集したいと思っています。原則として福祉委員の方から選出したいと考えています。

従来は、地域・校種別に学校生協から福祉委員の方に個別にお願いをしていましたが、意欲的に参加していただける方を優先したいと思っています。ぜひご応募ください。

事業検討委員会の仕事は、「秋の一人一品利用運動」などの商品の選定を、試食を通して行っていたことや、その他の商品販売事業全般についてのご意見を述べていただくことです。

今年度で6回目を数えますが、組合員の皆様の生の意見をいただいて、チラシづくりに活かしてきた結果、昨年度は目標を上回る業績を上げることができました。

日程等は、次の通りです。

1. 日 時／平成29年8月23日(水) 15:00～16:45
2. 場 所／富山県学校生協会館 富山市飯野25-8
3. 委員数／地区・校種選出5名、フリー枠5名 計10名
4. その他／・旅費は学校生協が負担します。
・多くの試食品がありますので、お腹の調子やアレルギーについては、個人の責任でお願いします。



春の福祉委員会議開催

先日、春の福祉委員会議が県内9会場で開催されました。学校や地域の行事が多い中、ご多忙にもかかわらずご出席していただいた福祉委員の皆様、本当にありがとうございました。

その際、貴重なご意見やご質問をたくさんいただきました。紙面の関係等で、すべてを記載することはできませんが、いくつかのご質問にお答えしたいと思います。



Q 1 今回の一人一品利用は安価な品が少なかった。もっと安価なものを入れたらどうか。

A 1, 今回の一人一品利用は、北陸合同企画ということで経費削減を図った。各県の考え方が違い、富山県学校生協の特長が出しにくかった。安価な品も多く入れるよう検討していきたい。

Q 2 以前はよく学校に回ってきてくれたが、最近はあまり回っていないのではないか。

A 2, 効率的な販売事業を進め、安定した経営を行うために、巡回担当を減員したので、巡回サービスが手薄になり申し訳なく思っている。

Q 3 いつもチラシだけでは購入意欲がわきにくい。試食品や見本なども用意しておいてほしい。

A 3, 学校訪問説明会や福祉委員会議では試食品を必ず準備しているが、普段の購入意欲を刺激するまでには至っていない。これからも機会を捉えて試食などしてもらえよう努めていきたい。また、教育用品でもできるだけ見本を示して説明するようにしている。

Q 4 バレンタインデー終了後にチョコレートがたくさん載ったチラシと申込書が届いたが、季節やイベントに合わせることはできないのか。

A 4, 今回のものは単品のチョコ企画かホワイトデー企画になってしまった。一人一品利用など季節のイベントなどを合わせることは難しいが、できることから検討していきたい。

指定店で愛顧感謝企画(指定店クイズ)

大好評をいただいた「指定店クイズ」を今年度も行います。
当選景品は今年度も「氷見牛5,000円相当」です。

クイズの応募方法

- ①全問お答えください。(今回は3問)
- ②学校名、住所と氏名
はがき、ファックス、メールいずれかでご応募ください。
- ③締め切りは7月31日(月) 必着。
- ④応募先 学校生協
住所、ファックス番号、メールアドレスは1面に記載してあります。
- ⑤全問正解者の中から、10名様に氷見牛プレゼント!
当選景品は指定店代表がお届けします。



◆一般指定店会



富山県学校生協60周年おめでとうございます。

指定店会も各店、提携年数などに違いはありますが、学校生協並びに組合員の皆様に大変お世話

になり、この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

おかげさまで、各指定店の認知度や皆様からの信頼感も大きく向上してきたと考えております。

今後とも、皆様の豊かな生活づくりに少しでも役立つことができますよう、利便性・品質向上・低価格などの面で努力をしてみたいです。よろしく願いいたします。

一般指定店会会長 畠山 一郎

第1問

学校生協は、創立何周年を迎えたでしょう。

- A 50周年 B 55周年 C 60周年

第2問

今までに、指定店が行ったキャンペーンはどれでしょう。

- A 「19の指定店、メロンプレゼントキャンペーン」
B 「19の指定店、知っとるけキャンペーン」
C 「指定店ご利用で行こう、ハワイキャンペーン」

第3問

富山県学校生協は、大きく分けて5つの事業を行っています。
「販売事業」「指定店事業」「Web事業」「サービス事業」
ともう一つは何でしょう。

- A 「保険・共済事業」 B 「保育事業」 C 「証券販売事業」



太陽スポーツ [スポーツ用品全般]

富山店・魚津店・ランブジャック掛尾店・砺波店 他



(株)オリバー [住宅リフォーム]

富山市二口町3-2-14 (076)492-6628



中田図書販売(株) [図書販売]

本社 富山市大泉町1-3-7 (076)421-0100



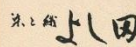
(株)サンソーホーム [住宅リフォーム]

射水市中太閤山1-1-1パスコ内 (0766)57-3435



オークス [冠婚葬祭]

本社 富山市中島4-2-14 (076)441-7711



吉田産業(株) [呉服・宝飾]

高岡市清水町1-4-7 (0766)21-0222



(株)丸栄 [寝具一式]

富山市新庄町4-3-2 (076)421-0228



丸和(株) [呉服]

高岡市小馬出町87 (0766)23-2623



ワールドコーヒー

富山店 ☎ 0120-324228 FAX 076-432-4005



富山 フォルフス [オーダー紳士服]

富山市中島2-2-33-11 (076)433-0388



(株)余西商会 [タイヤ・ホイール]

砺波店ミスタータイヤマン 砺波市栄町4-11 (0763)33-2533



大矢服装 [メンズアパレル・レディースアパレル]

高岡市福岡町下妻2245-1 (0766)64-5229



(株)米三 [家具インテリア・雑貨]

本店 富山市新庄銀座3-5-8 (076)424-3232



(株)モリワン [紳士服・レディース服]

富山本店 (076)420-9111 高岡店 (0766)54-0081



(株)砂土居造園 [エクステリア・リガーデン]

本社 砺波市広上町10-14 (0763)33-2101



(株)井上神通堂 [時計・宝飾・メガネ]

富山市小泉町551 (076)421-8075



(株)中曽根造園 [造園工事及びメンテナンス]

富山市下富居1丁目7-6 (076)441-0515